

宮城県救急搬送情報共有システムの運用実績及び課題等について

1 システム概要 (H31. 4. 23～運用開始)

- 救急隊が随時入力する病院照会情報及び傷病者情報と、医療機関が入力する受入可否情報の一覧化により、救急隊の搬送先選定を効率化
- 仙台市消防局が導入済みの同機能のシステム（病院照会サポートシステム）と連携
- スマートフォン及びタブレット端末による情報入力のリアルタイム化を図るとともに、端末の操作性を活かした簡易な入力方法により、多忙な現場での使用に配慮

2 現状（運用実績等）

(1) システム運用実績 (R1、R2 の比較) 【資料 1-2】

①照会件数内訳

- ・受入不可の割合 R1:31.1% ⇒ R2:33.3%
- ・受入不可内訳の「患者対応中」又は「ベッド満床」又は「手術中」の割合
R1:38.7% ⇒ R2:36.9%

②1件あたりの照会回数 R1:1.44% ⇒ R2:1.48%

(2) 病院収容所要時間

(単位:分)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
宮城県	39.1	40.1	40.9	42.4	42.8	42.5	41.1	40.7	41	41.7
全国平均	37.4	38.1	38.7	39.3	39.4	39.4	39.3	39.3	39.5	39.5
全国順位	41位	40位	42位	42位	41位	40位	39位	38位	38位	39位

(出典) 総務省消防庁「救急・救助の現況」

3 課題等（仙台医療圏4消防本部の聞き取りから）

(1) 病院収容所要時間について

- ・R1 が H30 に比べて延伸した要因は思い当たらない。ただし、仙台市消防局以外の4消防本部については、R1 がシステム導入の初年度であったことから、不慣れた機器操作による細かい時間の積み重ねが生じたことは考えられる。

(2) システム導入のメリットについて

- ・他救急隊の搬送状況が確認でき、搬送先選定の効率化・分散化に役立っている。

(3) 改善に向けた課題・要望について

①システムに関すること

- ・病院側の更新頻度の向上（頻度が低下すると、記載された情報の信憑性が下がる）
- ・記載内容の工夫（診療科についての詳細な記載など）

②システム以外に関すること

- ・受入可否判断までに要する時間の短縮（ホットライン、聞き取り内容の簡略化等）
- ・その他（精神疾患の複合症状への対応など）

4 今後の対応

(1) システム参加病院への調査

⇒システム参加病院におけるシステム入力ルール等の確認・見直し
受入可否判断の時間短縮に向けた事例等の共有

(2) 救急隊におけるシステム入力手順等の確認・見直し

(3) 運営検討会議による検討